

自治体危機管理担当者必携！！

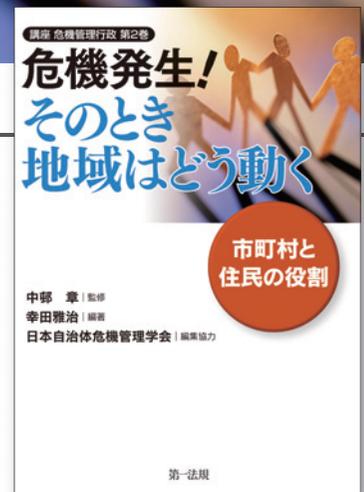
講座 危機管理行政 第2巻

# 危機発生！ そのとき 地域はどう動く

—市町村と住民の役割—

## 危機管理最前線

災害に強い地域とは何か。どうやったら強くすることができるのか。危機発生時、地域再生の最前線に立たされる市町村の役割について、専門家と実務家が危機事例を分析。「自助」「共助」「公助」の視点からその答えを探る。



中邨 章 | 監修

幸田雅治 | 編著

日本自治体危機管理学会 | 編集協力

危機管理研究報告  
待望の第2巻！

A5判・208頁・定価 本体2,190円＋税



第一法規

東京都港区南青山2-11-17 〒107-8560  
<http://www.daiichihoki.co.jp>

Tel. 0120-203-694  
Fax. 0120-302-640

## 各章の内容と執筆者

### 序章 ◆ 危機に備える市町村の役割と住民への対応

幸田 雅治 (こうだまさはる) 総務省消防庁国民保護・防災部長

### 第1章 ◆ 市区町村の新たな災害時要援護者支援戦略

鍵屋 一 (かぎやはじめ) 板橋区総務部契約管財課長

### 第2章 ◆ 災害対応課題と今後の方策 —新潟県中越地震の教訓—

越山 健治 (こしやまけんじ) 財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構 人と防災未来センター研究主幹

### 第3章 ◆ 住民による危機管理対応の可能性 —住民による2つのタイプの防災活動—

平 修久 (たいらのぶひさ) 聖学院大学政治経済学部コミュニティ政策学科教授

### 第4章 ◆ 地域防災力の向上とコミュニティの役割

砂金 祐年 (いさごさちとし) 常磐大学コミュニティ振興学部専任講師

### 第5章 ◆ アメリカにおける災害時の住宅復旧支援の現状と課題

—ハリケーン・カトリーナによる被害への対応を中心として—

佐々木 一如 (ささきかずゆき) 明治大学危機管理研究センター研究員、立教大学コミュニティ福祉学部兼任講師

### 第6章 ◆ 災害発生後の地域住民と自治体

—復興過程における住民意識の動向と地域の行政対応—

市川 宏雄 (いちかわひろお) 明治大学専門職大学院院長、明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科長

## 危機発生後の72時間

—いかに素早くかつ的確に対応するか—

自治体に必要な危機管理の要点を  
4つの切り口で具体的に解説

関連商品もぜひ併せて  
お読みください!

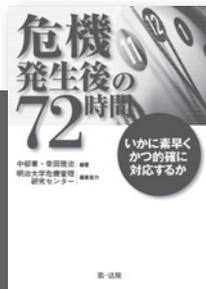
自治体の危機管理にあたって、注意すべきポイントを、①対策本部の運営 ②自治体間協力 ③住民への対応 ④マスコミ対応 の4つの切り口からまとめました。実際の危機事例もとりあげ、より具体的で、実務に役立つ内容となっています。

中邨 章・幸田雅治 編著

明治大学危機管理研究センター 編集協力

A5判・276頁・定価 本体2,000円＋税

明治大学公共政策大学院の青山伊教授(前東京都副知事)、市川宏雄教授など、この分野に精通した執筆陣を擁し、魅力満載!



ホームページからのお申し込みは

<クレジットカードでもお支払いいただけます>



<http://www.daiichihoki.co.jp>